

安心院オーガニックファームは 「サラダ野菜創造企業」

主な生産品目

ベビーリーフ パクチ
リーフレタス ハーブ各種



会社名 株式会社安心院オーガニックファーム

本社 〒872-0671 大分県宇佐市安心院町且尾945-6

栽培面積 安心院農場 14.65ha ハウス3.45ha(118棟) 露地11.2ha
付帯施設 パッキング兼出荷施設 堆肥製造施設

従業員 役員2名 社員2名 パート9名 実習生4名

理念＝大事に思うこと

- ①大切な人の「健康」を思い 安全な「食」を提供する
- ②農業人を育て、これからの地域農業の担い手を応援する
- ③地域資源を活かし、環境と地域文化を大切にする
- ④地域と共生し、地域経済の循環と発展に貢献する
- ⑤「土」づくりは「人」づくり 「農」を通して人を育てる

地域資源の活用

- ・焼酎かす(三和酒類さん)
- ・学校給食の残さ(宇佐市 ほか)
- ・豆腐残さ おから (宇佐市内の豆腐屋さん)
- ・米ぬか ふすま
- ・原木しいたけの残さ及び菌床残さ
- ・剪定枝、草 ・家畜ふん(牛糞 鶏糞 など)
- ・野菜くず(自社) ・酒粕 ・もみがら など

安心院OFの循環型農業とは

- ① 地域資源から人とつながり共感、連携、共生し、
地域経済の更なる発展につなげるもの
- ② 資源の適正かつ有効な活用を通して人としての
健全な価値観、人間観、仕事観、社会観を
見出すことにつなげるもの

これからの地域農業

①地域資源は宝物

里山資源や循環資源を大切にし、活かすことで地域独自の特色のある農業のスタイルを創出する

②地域に根ざし、地に足をつけた6次化(1×2×3)

③健康に配慮した感度の高い商品(農産物、加工品)づくり

④少客数高付加価値戦略(主に観光資源、食文化の創出)



地域の資源と文化を活かした地域農業事業

私たちは大分県宇佐市安心院町で野菜を育てています

安心院(あじむ)の由来

安心院という地名は「アジマ」です。

太古この地域はかつて海で、いっしょの土壌になり、
青黒(あじむら)が広がったことで、

草生(あじむ)と呼ばれ後世「あじむ」に転じてい
のしたという事がある。

も「アジマ」は平穏に仕める場所であることから
「安心」の文字を使い平安時代に倉庫としての
倉院(そういん)が置かれたことから安心院
という地名になったそうです。

また安心院は「宇佐 神宮」という全国八幡
大社の総本山のお膝元でもあります。
1500年も続く自然の社は、全国的にも希
少価値の高い文化遺産でもあります。

昔、天皇の命に就こうとした道徳の「大志
成」を和気清麻呂に「説教(おつけ)」とし
て見事に覆した実話は、所伝有名です。



農地所有者株式会社
株式会社 安心院オーガニックファーム
〒872-0671
大分県宇佐市安心院町自衛隊宇佐に042504
TEL 0975-79-0826 FAX 0975-44-1671
0975220@murakubo-yajima.jp



葉味探求

土へのおいしさ

人に個性があるように、野菜(ベビーリーフ)にも様々な風味と個性があります。
その根底に共通するのが清潔な土です。
風味が濃厚で長持ちする野菜の秘訣は「魂を込めた土づくり」からです。









